



# 思いを紡ぐ 優しいあおば

あおば支援学校 学校だより【第48号】 令和8年1月

## 『午年の勢いとともに歩みだす3学期』 副校長 <sup>すずき</sup> 鈴木 <sup>ともこ</sup> 智子

新しい年を迎え、いよいよ3学期が始まりました。保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年は午（うま）年です。古くから午は「勢いよく前へ進む力」「持久力」「道を切り拓く強さ」の象徴とされてきました。私たち教職員も、この象徴にあやかり、子どもたちの学びと成長を力強く支えていきたいと考えています。学校・家庭・地域がしっかりと手を取り合い、子どもたちの未来をともに育む1年にしてまいります。

3学期は、1年間の学びを結び、次の学年への助走をつける大切な時期です。子どもたちが「できた」という喜びや、「やってみたい」という意欲を安心して表現できるよう、日々の学習や生活を丁寧に支えていきます。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



## 『大熊摩利さんありがとう』

<sup>ふじおか</sup> 校長 藤岡 <sup>あゆみ</sup> 歩

寺家田んぼ“〇おすび”（おおすび）主宰の大熊摩利さんが令和7年12月12日（金）にご逝去されました。

あおば支援学校には令和3年度より関わってくださり、高等部農園芸班の寺家の田んぼでの田植え・稲刈り体験や学校西側の花壇（通称：さんかく花壇）の初期整備、高等部の力カシづくりの授業、バケツ稲栽培の土提供など様々なお力添えをいただきました。いつも明るい笑顔で、子どもたちの活動を見守ってくれました。ありがとうございました。



## あおば支援学校の地域との交流授業



高等部2年生は、あおばフェスタでカフェをしました。本校として初めての試みだったため、生徒が実際にお客様を接客できるようになるために何が必要かを検討しました。そこで、プロの方から指導を受けることで学びが深まると考え、あおばまるの武智様を通して、フィリアホールのレセプションの吉川様と太田様にご協力いただきました。

授業では、業務ごとに、よい手本と悪い手本を示していただき、生徒自身がよい対応を選び、実践する活動を行いました。ゆっくりとわかりやすい説明により、生徒は集中して学ぶことができ、適切な接客対応を身につけることができました。

フェスタ当日には、学んだことを生かし、笑顔で丁寧な接客を行う姿が見られ、会場は大いに賑わいました。吉川様、太田様、武智様には、多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。



# 高等部の様子



## ＜校内実習・現場実習＞

9月22日から10月3日の2週間、校内実習を行いました。これは高等部を卒業した後に向けての学習の場となっています。近隣の事業所の方々から資材のご協力を頂き、手帳の解体、ペンや入浴剤の袋詰めなどに取り組んでいます。また、校内の清掃活動では隅々まできれいにしてくれています。各グループに分かれ、「どこの会社で何の仕事を頑張る!と社名や目標も考えるところから始まります。期間中は、作業学習で学んでいる、「報告・連絡・相談」を活かしながら取り組んでいます。

さらに、この期間を中心に、現場実習に行っている生徒もいます。進路先を視野に入れた実習です。自己選択・自己決定を目指し、1年から学習してきた成果がここでも現れています。

校内実習や現場実習については、報告会も行っています。3年生からは1、2年生に向けて、「1年生のときには心配なことがたくさんあったけど、少しずつ自信を持って取り組めるようになりました。1、2年生も頑張ってください。」といった応援メッセージが送られました。



## 小学部6年 修学旅行



11月27日(木)～28日(金)の2日間で、ハ景島シーパラダイスへ修学旅行に行ってきました。1日目は大きなバスに乗って、ホテルでオムライスを食べた後は、3グループに分かれて水族館を回ったりお土産を買ったりしました。A部門は一度ホテルに戻り、ホテルの中からペンギンのパレードを、B部門はふれあいラグーンでカワウソやペンギンのショーをそれぞれ見学しました。その後は全員でホテルの夕食を楽しみ、ぐっすり眠りました。

2日目の朝は、ビデオ通話でケアのある児童がいる部屋と食事会場をつないで、みんなで「おはよう!」と挨拶をしてスタート!その後は2グループに分かれて、海沿いを散歩したり、タワーに乗ったりして最後までシーパラダイスを満喫しました。



小学部6年生全員で協力して、楽しい2日間を過ごすことができました!



## 小学部B部門1年 遠足



小学部B部門1年生は、11月14日(金)に、初めて大場かやのき公園へ遊びに行きました。スクールバスに乗り、外の景色を眺めながら遊ぶことを楽しみに公園へ向かいました。

公園に着くと子どもたちは、周りを見渡して、大きな滑り台や小さな滑り台を順番に滑ったり、ロープを手繰りながら壁を登ったり、前後に揺れるスプリング遊具に乗ったりして、それぞれに笑顔で過ごしていました。また、砂場では砂の感触をたくさん楽しみ、砂を掬ってさらさらと流れる様子を見たり、型に入れたり、山を作ったりと、じっくり遊ぶ姿も見られました。

先生やボランティアさん、友達と関わりながら、それぞれのペースで公園遊びを楽しむことができました。気候もよい中、外で体を動かしてよい経験となりました。